

西多摩医師会報

1986年5月1日

161号

発行所・社団法人 西多摩医師会 東京都青梅市西分3-103
編集委員・石井 好明 井村 進一 TEL.(0428)23-2171(代)
栗原 琢磨 小林 杏一
道又 正達 村山 正昭 渡辺 良友

新執行部スタート 職務分掌委員決まる

3月定例総会において61年度新役員が選出され、新役員による定例及び臨時理事会が4月に入って3回開催され本号に掲載した各部職務分掌図に示したような各種委員が選任された。

新会長による新体制のもと、各部にも活発な人選の変動がみられ、保険指導整備委員を除く各部委員総数43名のうち過半数の22名が新たに選任されている。我々医師、就中開業医は今や全くサバイバルの時代に入っている。個人としても、また集団としても確固たる実力を持つ以外に生き残る道は無いであろう。我々は個人個人、それぞれ価値観も異なれば人生観も異なっていく。数を頼んで徒党を組むわけにはいかない。理性ある職能集団として医師会の存在価値がある。新執行部の活動に期待したい。

理事会報告

4月の理事会は当然のことながら年度始めと言うことから報告事項、協議事項ともに委員の選任やら新方針の策定のための部会開催予定、臨時総会え向けての準備といった内容が多くみられた。

会議の運営方法も、手引き、「理事会運営の仕方」を尊守して理事会、理事協議会等を明確に区別し審議の能率化を計るよう努めている。また会長報告は原則として紙面報告と簡素化しフリートークのための時間を設けた。この内容は現在日医でも最重要課題の一つである生涯教育問題と西多摩地域におけるヘルス事業などが中心である。各理事の活発な発言があり、いずれこれ等の事業に対する新執行部の具体的な方策が確定され実行に移されるであろう。

4月臨時理事会

昭和61年4月5日(火) 7:30~P.M.

西多摩医師会館

議事録署名人 { 川辺理事
栗原理事

I 報告事項

- 1) 会長挨拶
- 2) 副会長職務分担について
大塚副会長；総務、経理、保険、福祉部
松原副会長；広報、学術、学校医、産業医部
以上のように両副会長の職務分担が決った。
- 3) 「医療協」の委員分担は各自自治体より選任された役員が担当するのが望ましいが檜原地区は役員が選出されていないため、今川監事が担当することで了承された。
- 4) 東京都労働保険医療協会評議員には高木直理事を再任することで了承された。
- 5) 西村会長より奥多摩病院は現在位置で改築されることに決定した旨報告があった。

(3頁、下段に続く)

西多摩医師会

◎印 担当部長

○印 委員長

		部 名	担 当 理 事	委 員 会 名
会 長 西 村 邦 康 副 会 長 松 原 貞 一	副 会 長 (会 長 代 行) 大 塚	総 務 部 (大塚)	◎足立卓三・栗原琢磨 塩沢永康・林 実 宮川栄次	医事紛争処理委員会
		広 報 部 (松原)	◎石井好明・井村進一	会報編集委員会
		学 術 部 (松原)	◎塩沢永康・林 実 東 吉男	学 術 部 委 員 会
	副 会 長 松 原 貞 一	保 險 部 (大塚)	◎高木 直・足立卓三 井村進一・唐橋善雄	社保指導整備委員会
				国保指導整備委員会
	副 会 長 松 原 貞 一	福 祉 部 (大塚)	◎栗原琢磨・大塚栄二 唐橋善雄	福 祉 部 委 員 会
		公衆衛生部 (松原)	◎林 実・川辺隆道 湯川文朗	公衆衛生部委員会
		学 校 医 部 (松原)	◎東 吉男・大塚栄二 川辺隆道・湯川文朗	学 校 医 部 委 員 会
		産 業 医 部 (松原)	◎宮川栄次・高木 直	産 業 医 部 委 員 会
経 理 部 (大塚)		◎川辺隆道・大塚栄二 湯川文朗		

西多摩地区医療保健衛生協議会(医療協) ○大塚 渉・足立卓三・今川 武・大塚栄二・川辺

医道審議会委員 ○丸茂三千穂・池田 聖・小林康光・清水章三郎

地 区 会	地 区 名	会 長 名	副 会 長 名
	西 部	足 立 卓 三	川 辺 隆 道
	東 部	塩 沢 永 康	宮 川 栄 次
	南 部	栗 原 琢 磨	井 村 進 一

各 部 分 掌 図

(昭和61年4月現在)

委	員	氏	名
(南部)大塚 渉・鈴木 修 (東部)松原貞一・島田芳明 (西部)足立卓三・鈴木 穆			
○村山正昭・石井好明・井村進一・栗原琢磨・小林杏一・道又正達・渡辺良友			
○塩沢永康・植田 稔・木村 隆・坂本保己・佐々木章・野本正嗣・林 実・東 吉男・平沼 俊 村山正昭・渡辺良友			
○足立卓三・秋山静夫・市原 靖・今川 武・大嶽栄二・加藤 出・木野村幸彦・栗原琢磨・小林杏一 斎藤信幸・笹本隆夫・館野 進・堤 次雄・平林信隆・道又正達・山田 登・湯川文朗・横田卓史 渡辺良友			
○井村進一・植田 稔・唐橋善雄・木村 隆・小林康光・三枝 進・島田芳明・鈴木 穆・鈴木 修 鈴木 丹・高木 直・野本正嗣・葉山 侃・堀内 素・山口岱三・吉武泰俊・米谷豊光・横田 博			
○栗原琢磨・井上勇之助・大嶽栄二・唐橋善雄・木野村幸彦・堤 次雄・野本正嗣・村山正昭・湯川文朗			
○林 実・川辺隆道・笹本隆夫・野本正嗣・湯川文朗・横田 博・渡辺良友			
○東 吉男・今里 勉・内田萬次・大嶽栄二・川辺隆道・栗原琢磨・佐々木章・清水章三郎・湯川文朗			
○宮川栄次・塩沢永康・高木 直・森 和胤			
隆道・栗原琢磨・林 実・松原貞一・湯川文朗			
・竹内靖信・堤 次雄・波田野洋夫・葉山 侃・平林信隆			

Ⅱ 協議事項

- 1) 総務部より臨時理事会に伴う4月、5月の日程について、5月25日(土)を昭和61年度臨時総会とし、4月に定例理事会1回、臨時理事会2回を開催し会計監査会を行う。
5月に定例、臨時理事会を各1回、総務会1回開催したいとの提案があり承認された。

- 2) 学術部より従来学術講演会の通知状に往復葉書を使用して出欠を確認する方法をとっていたが、返信内容と実際の出席者数が必ずしも一致しないことが多く、またこれにかかる費用も高額となるため、今後は通知のみとした旨の提案があり承認された。

4 月臨時理事会

昭和61年4月15日(火) 7:30~P. M.

西多摩医師会館

議事録署名人 { 東 理事
林 理事議事録署名人 { 塩沢理事
高木理事

I 報告事項

- 1) 総務部より「苦情処理 110 番」担当者を以下のように選任したと報告された。
 - 南部地区 ; 大塚副会長
 - 東部地区 ; 松原副会長
 - 西部地区 ; 足立理事
- 2) 学術部より4月10日の講演会についての内容報告があり、4月24日、講演会后に第1回の部委員会を開催する旨報告があった。
- 3) 保険部からは4月21日に都医より寺沢理事を招聘して保険講習会を行う予定と、保険部として保険審査等に関する会員向けアンケート調査を行いたい旨報告がありました。
- 4) 公衆衛生部より各種予防接種、健康診査等に対して都内23区で取決められている単価委託料金に関する資料が提出され、解説がなされた。
- 5) 経理部より4月30日に経理部会を行い5月1日に会計監査を行うと報告があった。

II 協議事項

- 委員の任命について
各部より選任された委員の発表があり各部分掌図のように全員承認された。

III フリートーキングの要旨

- 医師会報について
会報編集委員会の位置づけ、広報部との関係、発刊日の遅延等について広報部内で検討願う。
- 「生涯教育」について
「生涯教育」については今後しばらくフリートーキングの形で話し合を続け徐々に内容を煮つめて委員会の形式をとってすすめていきたい。

4 月定例理事会

昭和61年4月22日(火) 7:30~P. M.

西多摩医師会館

I 報告事項

- 1) 総務部より「三多摩地区庶務担当理事連絡会」の報告があった。内容は各地区医師会の新年度の事業予定、A、B会員の資格及びその会費等について話し合いが行われた。本会には今期より足立総務部長、林理事が出席することになった。
- 2) 広報部より部委員会報告があった。以下がその要旨であった。
 - 編集長は村山正昭先生とする。
 - 会報は編集委員会で自主性を持って編集する。
 - 期日発刊に努力する。
 - 各部より積極的な寄稿を希望する。
- 3) 学術部より4月24日、5月16日、5月23日にそれぞれ行われる学術講演会の説明があり多数の出席者を期待していると報告があった。
- 4) 福祉部より青色申告会医師会支部の新役員を選任するため4月23日に部委員会を開催する報告があった。
- 5) 学校医部より5月9日、第1回の部委員会を開催する報告があった。
- 6) 産業医部より部委員を宮川、高木直、塩沢、森先生の4名にすると報告された。
- 7) 総務部より以下のように役員が選任されたと報告があった。
 - 救急担当 ; 宮川理事
 - 職員担当 ; 大塚副会長、足立理事
 - 経理担当 ; 大塚理事を増員して、川辺、湯川理事と3名とした。
- 医事紛争処理委員については以下のように選任された。
 - 南部地区 ; 大塚副会長、鈴木修先生
 - 東部地区 ; 松原副会長、島田芳明先生
 - 西部地区 ; 足立理事、鈴木穆先生

II 協議事項

- 1) 会長、副会長経験者の諸先輩の御意見、御経験談等を伺い、また新執行部を御理解いただくため懇談会を開催したい旨総務部より提案があり全員で承認された。

尚、出席者は会長経験者3名、副会長経験者7名、全理事である。日時は5月21日、福生、幸楽園と決った。

2) クラヤ薬品KKより会社創立記念事業の一つとして医師会に黒板寄贈の申し入れがあり受領が承認された。

学 術

61年度 学術部事業計画具体案

4月24日(金)講演会(即時型アレルギーの診断と治療)終了後、西多摩医師会館和室にて第一回学術部委員会が1時間10分に亘り熱心に討議され下記の通り決定したので報告する。

出席者 松原副会長、東、林、塩沢各理事、(東部)村山、渡辺良友 (西部)佐々木、野本、(病院)坂本保己、平沼 計10名

皆さん、既にご存じの通り、日本医師会の指導により生涯教育制度が6月より発足するので、当部が中心になって活発に活動すべく委員一同確認し合った。全会員も積極的に参加下さるよう哀心よりお願い申し上げます。

1) 役割分担の件

講演会 塩沢 研究会 野本、村山、渡辺
講習会 塩沢 勉強会(A会員)林 (B会員)平沼
コ・メディカル向 塩沢 一般向
松原 一般教養 植田、林

2) 昭和61年度 学術部事業予定表

4月10日(木) 慢性膵炎の診断と治療

都立府中病院内科医長 加賀谷孝寿先生

4月24日(木) 即時型アレルギーの診断と治療

国立相模原病院 顧問 塩田浩政先生

5月16日(金) 呼吸器感染症の現況

公立昭和病院呼吸器科医長 鈴木俊光先生

5月23日(金) ターミナル、ケアについて

日本大学医学部第一内科教授岡安大仁先生

6月13日(金) 公的三病院における胃癌症例について

特にA会員より紹介された胃癌症例について

阿伎留病院: 外科 佐藤 恵先生

青梅市立総合病院 外科 山川淳二先生

福生病院 外科 諸角強英先生

6月26日(木) 高血圧症の治療と問題点

東京大学第2内科助教授 石井當男先生

7月9日(金) 免疫〔I〕基礎篇

東京医科歯科大学医学部 小児科教授

矢田純一先生

7月24日(木) 免疫〔II〕臨床篇

講師 同上

8月 休講

9月11日(木) 糖尿病の食事指導の実際

一ツ橋診療所長 東京女子医大非常勤講師

守屋美喜雄先生

9月19日(金) 胃癌取扱規約と私の経験談

青梅市立総合病院 院長 星 和夫先生

9月25日(木)(一般) 食生活と健康

同愛記念病院 栄養室長 佐野倫子先生

10月9日(木) 調和的情報社会

専修大学商学部 教授 唐木幸比古先生

10月22日(水) 一般医が知っておくべき小外科

青梅市立総合病院胸部外科部長 宇田 東平先生

10月30日(木) 心電図の読み方〔I〕

青梅市立総合病院内科部長 坂本保己先生

11月12日(水) 医療相談室の窓より見た世相

聖マリアンナ医大 助教授 深澤道子先生

11月19日(水) 乳児健診について

青梅市立総合病院小児科部長 林 良樹先生

11月27日(木) 心電図の読み方〔II〕

坂本 保己先生

12月11日(木) 心電図の読み方〔III〕

坂本 保己先生

1月 休講

2月 上旬 貧血

阿伎留病院 内科 西成田 進先生

未定日 A会員 3題

3月未定日 B会員 公的病院 3題

※11月末日(土) 第62回 多摩医学会

講演会 研究会 講習会

勉強会 一般教養 一般 一般向

コ・メディカル向

3) 生涯教育委員会設立の件

4月23日の都医師会主催の地区医師会、学術担当理事連絡会のポイントを纏めて配布したが、時間の関係上討議出来なかった。

この問題は、理事会でも検討中であり全会員のコンセンサスを得るべき問題で、じっくりと一歩一歩前進して行く考えである。

2)-ii)、iii)の日時、2)-i)、V)、VI)、VII)の日時、講師は交渉中にて、決定次第公表する予定である。

テーマ、日時、講師、運営方法、等々と生涯教育とその他、何でも遠慮なくザックバランにご意見、ご感想をお聞かせ下されたく何卒宜敷お願

い申し上げます。

医師会は学術専門団体であることを内外に知らしめ、再び、昔日の如く、権威あり、且、慕われる医師の姿を示めそうではありませんか!!

尚、生涯教育の問題は、大変重要なので、全会員の意見を聞くため、各地区医師会にて十二分に話し合い、更にブロック会にて討議を重ねて、意見を具申して頂きたく、地区会長さん、ブロック長さんの労をお願い申し上げます。

これに関して、会報にもドシドシ投稿を募るか、シンポジウムを開催し掲載したらどうであろうか。会報編集委員会に要望するものである。

(塩澤 永康)

公立三病院担当の学術勉強会(3月13日)に出席して

1. 当院における胆石症治療の現況について(阿佐留病院外科 菅井義久先生)

充実した内容であった。最近の進歩として、超音波・十二指腸鏡・胆道鏡・CTを上げられ、最近11年間の自験例209例(胆嚢結石157、胆嚢及び胆管結石29、胆管結石17、胆内結石6)の中から、多くの症例をスライドで示しつつ、胆石症の種々の合併症についても説明された。又、一時盛に行なわれた乳頭形成術も反省期にあり、殊に胆嚢がある場合の乳頭切開は慎重にすべきこと、胆石溶解剤にも問題があること、遺残結石には内視鏡的除去例が増えていること、切除した胆嚢癌5例はすべて結石を伴っていたこと等を述べられたが、サイレントストーンは、随伴病変がない限り、経過観察でよいと考えておられる旨、質問に答えられた。(青梅市立総合病院外科でも、過去25年間の胆石手術例は554で、最近5年間は始の5年間に較べて10倍増加しており、悪性胆道疾患も77例で、同じく3.5倍と著明な増加傾向を示している。)

2. 微小変化ネフローゼにおける急性腎不全症例について(青梅市立総合病院腎センター 栗山廉二郎先生)

聞き馴れない言葉であったが、「微小変化ネフローゼ」とは、腎生検によって糸球体の形態学的

変化が微小であると診断されたネフローゼ症候群のことであり、それが急性腎不全を起す原因については、腎の間質の浮腫など、何らかの腎性因子の関与があると思われるが、詳細に検討したが目下よくわからないとのことである。又、急性腎不全は可逆性の場合があり、治療法によって予後がかなり違うので、充分の注意が必要であると述べられた。質疑応答の中で、集検やドックの時の尿蛋白のみ、或は尿潜血のみ陽性の場合をどう扱うべきかの問に対して、それが早朝尿での成績なら軽視せず、精検すべきであると答えられた。(精検しても、顕微鏡的血尿の原因の半数近くは不明であったという報告もあるようである。)

3. 伝染性単核症の一例(福生病院小児科 斉藤譲先生)

余り多くない疾患で、教科書などには、EBウィルスによるものと、腺熱リケッチャによるものとがあると記載されているが、現在、小児科学界では、大部分、ウィルスによるものと考えられているようである。発熱とリンパ節腫張と、白血球及び単核球増多を主徴とするが、ポールバネル反応の上昇する例は日本では少なく、確定はEBウィルス抗体(IgM)の上昇によるとのことで、症例呈示がなされた。

(石井好明 記)

胃検診委員会幹事会報告

出席者 西村、大塚、松原、川辺、山口、湯川
村山、渡辺

5月7日(火)西多摩医師会館において胃検診委員会幹事会が開催され、本年6月より開始される胃検診事業の日程と一次読影への関与について最終的な話し合いがもたれた。

一次読影については、ひろく会員の参加を促すと同時に精度管理を維持するためにガン検診センター、公的3病院の専門医と会員の3者による読影委員会が構成されること基本方針としている。

日程表のごとく福生保健所では毎週火曜日に胃検診が行なわれるため、6月17日(火)には第1回の読影が実施される予定である。当面福生保健所実施分について、第3火曜日に読影が行なわれるので、東部地区会員の役割りが大きくなり、読影委員会の構成が固定するまで全ブロックからの協力が不可欠です。

昭和61年度・胃癌検診事業日程表

福生保健所	第1～4火曜日 (第5、祭日除く)
五日市保健所	第1・4木曜日(祭日除く)
秋川保健相談所	第2・4金曜日(")

61年5月段階での胃検診事業協力者は次の通りで、一次読影に参加しないと二次検診の指定がうけられないため参加施設の再募集がおこなわれることになった。

市原 靖	井村 進一	井上勇之助
内田 萬次	大河原 周	小川 隆
大塚 渉	大塚 宣夫	小沢 昌彦
川辺 隆道	加藤 出	木村 隆
小林 杏一	唐橋 善雄	清水章三郎
菅井 義久	鈴木 修	西村 邦康
高木 直	野本 正嗣	野村 有信
林 実	平岡 克彦	松原 貞一
三井 久男	村山 正昭	大堀 洋一
諸角 強英	湯川 文朗	吉野 住雄
横田 卓史	渡辺 良友	米谷 豊光
山口 岱三		

検診後の follow up は検診事業の一環ではあるが、医療そのものという症例が多くなることが予想される。事後処理については所見の記載について検診センターの指導のもとにモデルとなる記載方式をとり決め、責任をもった管理を実施したい。

東京都においては西多摩地区における本事業に重大な関心を寄せており、胃癌連絡協議会(仮称土井課長)のような運営機関が提示されている。

なお6月13日(金) P. M.

西多摩医師会館において公的3病院が中心になつて胃癌症例の勉強会が開催されます。多数の会員の参加をお願い致します。

村山 正昭

あとがきにかえて

本年度より会報の編集は編集委員7名全員による持ち廻り責任編集とすることになりました。

小生などは従来、編集委員会に出席しても堀田村山先生に全くの“オンブにダッコ”でただお茶を飲んでいただけの無責任委員で過ごしてきたため今回は大変な難儀をいたしました。執行部の活動状況を会員の皆様にお知らせするため理事会報告を少し詳しく解説し巻頭に掲載することになり、

その最初の原稿を作りましたが会議の内容を原

稿にするのは初めての経験であり大事な発言を落しているようであり、また会議の雰囲気も充分お伝えすることも出来ませんでした。

編集委員会としても期日発刊に努力する所存ですが原稿の集り具合、また各編集担当者のお考えにもより多少の変動があるかも知れません。

今回は拙速を覚悟のうえで期日刊行に努めました。

(編集担当者 栗原)

文 芸

「薫風の五月」 小泉新策

風薫る五月の空は晴ればれし
 野山は日々に翠いやます

今春は鶯来啼く数多し
 稀らしきことなどか 楽しき

医師会も衣がえしてすがすがし
 清く明るく若やぎ 楽しき

懸案のサミット事無く終りたり
 蟻の這ひ入る隙間なき 警戒裡に

チャールズ皇子著るくダイアナ妃 来訪さる
 明朗親善 遺して

国会 保険改革 案ならず
 拙速 不可なり 完璧期されよ

感染の恐怖に戦く「エイズ」にも
 説明の曙光 対策明るし

白血病 骨髓移植 技術成る
 医界情報 いよよ 明るし

原子炉の突然爆発 恐怖なり
 被害未知数 対策又 未知なりとは

診療報酬明細書返戻状況

2月分

	返 戻 理 由	医科（乙表）件数			
		青 梅	福 生	秋 川	西多摩
1	保険者番号、記号・番号、公費負担者番号、市町村番号、受給者番号の不備又は保険者番号と記号の不一致	15	11	4	19
2	旧証の記号・番号	1	0	1	6
3	患者名、生年又は生年月のもれ	0	0	0	0
4	傷病名のもれ	0	0	1	0
5	診療月分、診療開始日、診療実日数、転帰のもれ	1	2	0	1
6	診察料（初診、再診、往診又は時間外等の表示）のもれ	2	0	0	0
7	診療月と診療開始日及び初診料の不一致	0	0	0	9
8	診療実日数と診察回数との不一致	0	2	0	10
9	投薬・注射（薬名、規格単位、用量、回数）の不備	6	0	0	2
10	処置・手術・検査・X線（薬名、回数、内訳）の不備	2	0	1	0
11	入院料の不備	0	1	0	0
12	点数欄記入もれ又は点数算出根拠不明	2	2	0	3
13	契約外（国保、国鉄、公費等）	2	0	1	0
14	症状詳記（診療内容及び方針の説明等付せん参照）	1	0	0	0
15	医療機関（薬局）の申し出によるもの	2	0	0	1
16	その他	0	5	0	0
	計	34	23	8	51

- 4月18日 都医会長会
- 〃 三多摩会長会
- 23日 都医学術担当理事連絡会
- 〃 都医苦情処理委員会
- 25日 都医地域医療連絡会
- 5月6日 日医代議員と都医代議員会
- 7日 都医医事紛争、処理委員会
- 9日 都医地域医療委員会
- 12日 医政連幹部会
- 13日 日医執行部と代議員会
- 15日 都医産業医担当理事連絡会
- 23日 都医地域医療委員会
- 30日 都医会長会
- 〃 三多摩会長会

会員通知

- 会報
- 青梅市立総合病院第4回CPC開催案内
- 〃 4月号宿日直表
- 健康増進時代ポスター
- 学術講習会開催案内
- 保険講習会開催案内
- 老人診療報酬点数表の一部改正等の運営について
- 計量器定期検査の実施について
- 結核医療基準等の一部改正について
- 第18回産業医学講習会の開催について
- 薬価基準の一部改正について
- 覚せい剤原料取り扱い上の注意
- 会報
- 香川県医師国保組合の被保険者の一部負担金の変更
- 診療報酬請求書等の新様式及び記載要領等の一部改正について
- 学術講演会開催案内
- 健康保険法施行規則の一部を改正する省令の施行について
- コンピューター利用アンケート調査実施協力依頼
- 基準給食における給食業務の一部委託に関する取扱いについて
- 青梅市立総合病院宿日直表
- 青梅市立総合病院第5回CPC案内
- 会報
- 西多摩医師会各部分掌図

- 61年1期分諸会費請求
- 「都医学校医会学術講演会」
- 生涯教育委員会の設置と会員の自己申告制について
- はり・きゆうの施術に関する同意書の取扱い
- 地方公務員共済組合の組合員証等の更新
- 国保診療報酬の振込指定金融機関の変更
- 61年度臨時総会通知

同好会だより

第52回西医ゴルフ研修会

昭61年3月30日(日)

立川国際C.C. 草花コース

快晴とはいかなかったものの、心配された雨も降らず、まずまずの天候でした。

ゴルフの方は皆さんマイペースでそれぞれ楽しんでおられたようですが、葉山先生が久しぶりに優勝されました。おめでとうございます。

スコア的には三井先生が第1位でしたが、初参加の為、優勝の資格がなく、準優勝にとどめられました。(足立)

	O	I	G	HD	N		新HD
葉山	45	45	90	18	72	優勝	14
三井	51	51	102	32	70	準優勝	29
大堀	56	52	108	35	73	3位	33
池田(久)	56	52	108	34	74	4	
内山(大)	43	47	90	15	75	5	
笹本	53	54	107	30	77	6	
大橋(弘)	52	50	102	25	77	.7	
小野	55	59	114	35	79	8	
杉本	50	47	97	18	79	9	
内山(淳)	58	53	111	30	81	10	
鈴木	47	47	94	13	81	11	
林	46	45	91	8	83	12	
川崎	60	52	112	24	88	13	
池田(壘)	64	60	124	36	88	14	
川島	56	55	111	20	91	15	
足立	53	54	107	15	92	16	
立川	60	53	113	20	93	17	
丸茂	63	62	125	30	95	18	
対馬	65	64	129	25	104	13	13
大橋(敏)	76	81	157	36	121	20	



関東医学検査研究所

本社研究所 埼玉県所沢市岩岡町281-58

TEL. (0429) 23-7272 (代表)

東京営業所 Tel(03)979-3261 西東京営業所 Tel(0425)65-0072

特殊検査のルーチン化を目指す

関東医学研究会グループ

関東医学検査研究所 埼玉県所沢市岩岡町281-58

埼玉臨床検査研究所 埼玉県鴻巣市天神三丁目673

群馬臨床検査センター 群馬県前橋市六供町1360-1

東京臨床検査研究所 東京都板橋区徳丸4-14-18

セントラル・ラボラトリー 東京都中央区日本橋兜町12-7

主要検査項目

内分泌機能検査
 生化学検査
 薬物検査
 微量金属代謝検査
 免疫血清学検査
 ウイルス検査
 血液学的検査

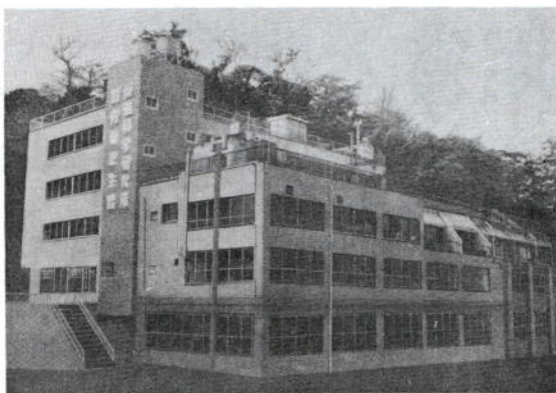
臨床検査センターの雄 保健科学研究所

横浜市保土ヶ谷区神戸町106

電話 045 (333) 1661 (大代表)

八王子市子安町3-17

電話 0426 (26) 2203・2204



○総合臨床検査センターとして20余年間地域医療に貢献し、絶大な信頼を頂いています。

○完全オンラインシステム化を実現致しました。(データ通信システム)

○関係医療機関 約 3,500ヶ所

○広範囲な検査内容

- 内分泌学検査 ● 免疫学検査 ● ウイルス検査 ● 生化学検査 ● 血清学検査 ● 血液学検査
- 病理組織検査 ● 細胞診検査 ● 重金属検査 ● 水質検査

！都川県の御得意先を毎日定期的集配致します。御一報を御待ち致しています。

くらしの知恵と情報を

ホームバンクの埼玉銀行



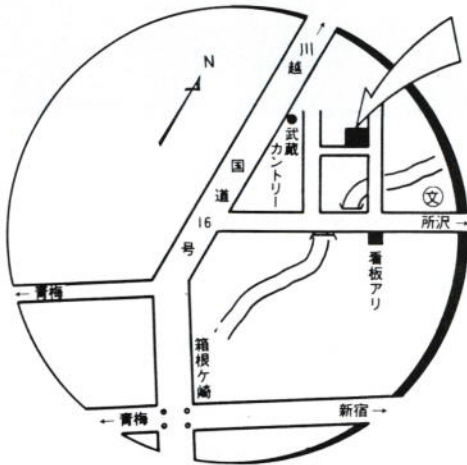
埼玉銀行

青梅支店 (TEL 0428-22-1101)
東青梅支店 (TEL 0428-22-2121)
青梅支店
奥多摩特別出張所 (TEL 04288-3-2515)

福生支店 (TEL 0425-51-1021)
村山支店 (TEL 0425-61-1211)
五日市支店 (TEL 0425-95-1311)
河辺支店 (TEL 0428-24-2401)

期待と信頼にこたえて15年!!

検査のことなら**武蔵臨床**へ 電話一本緊急検査に応じます
学校、会社の集検にも御利用下さい



埼玉県登録衛生検査所

武蔵臨床検査所

所長 杉田 富徳

埼玉県入間市上藤沢 3 3 9 ~ 1

TEL 0429 (64) 2621(代)